

故郷と私

グループ : B 2

名前 : グェン シ ドーン

1. 紹介分

人間、誰でも大切なコミュニティがある。ある人は自分の会社が大切であり、ある人は学校が一番大切なコミュニティだと言った。いろいろあるが私にとって、一番大切なコミュニティは故郷である。

なぜ私にとって故郷が一番大切なコミュニティかというところに私の家族がいる、私の友達がいるそして私にいろいろ教えてくれた先生方もいるなどだから。

私にとっては何よりも家族が一番大切である。生んでくれて、いろいろ大変なことを乗り切って私を大切に養育している両親に何よりも「ありがとう」と言いたい。兄の健康を心配してたくさんのおいしい料理を作ってあげた妹もそこにいる。そして、私と一緒に勉強したり遊んだりいろいろな記念があるもそこにいる。楽しいときも悲しいときも家族だけではなく渡しの傍にいつも大切な友達がいる。さらに。私にいろいろ科学知識や人間関係などを教えてくれた先生方もそこにいる。たとえあるとき先生に痛い言葉でいわれたが先生方も私たちが家族や社会などに役に立つ人間になるためである。

今は故郷と離れて自分の夢を実現するために日本に行ったが、いつもどこでも私の中に故郷が一番大切なコミュニティである。

2. インタビュー相手

前回、故郷と私の紹介文でなぜ私にとって故郷が一番大切なのかを述べた。今回のインタビュー相手の文はその故郷の中に家族について詳しく話す。そして、インタビュー相手として母を選んだ。

なぜ母を選んだかという、母は家族の中になくてはいけない存在だと思う。家族は人が生まれてから社会のことを認識して初めて社会人になるまでの性格や考え方などに一番大きく影響を与えると考えられる。悪い人は悪い家族から生まれる、逆に社会に人間に役に立つ人はとても良い家族があるはずだ。

私の場合も同じ、特に家族の中に私をいろいろ知識や人生のことを教えてくれて、私の健康を心配して考えて栄養のいっぱいおいしい食べ物を作ってあげて、いつも私の傍にいて応援する人は母である。だから今回のインタビュー相手として母を決めて皆さんに話したいと思う。

私の家族は多くの家族と違って、父も母も働いている。事務所の仕事を終わったら母

がまた家族の仕事を始める。一日中働いている夫の健康と私たちの栄養のバランスを考えて料理を作ったり、部屋を掃除したりする、つまり家族の中に一番大変なのは母である。だが母は今まで何にも文句を言ったことがなかった。あるときに母は私に「母さんにとって何よりも家族が一番大切だ。あなたたちを嫌気に成長して、社会に役に立つ人になることは母さんの夢だ。だからどんな大変ことも母さんが全部乗り切れる」と言った。その言葉を私が一生頭の中に刻んで頑張りたいと思う。

私たちを生んでくれて一番簡単なことからきちんと親切に教えてくれる母と今までもこれからも輪刷られない印象の強かったことがたくさんある。例えばあるとき私が重い病気にかかった。母も心配して仕事を休んで夜も寝ずに私の傍にずっといる。あるとき私がいたずらことをやってしまった。私をしかった後に母が泣きながら私を抱えて「きちんと教えてあげないせいで、ごめんね」と言って私も泣いた。これらのことを私に対しては一生の宝くじのようだ。

母は私に知識や人生のことを教えることだけでなく私の夢も大きく影響を与える人だから。今回のインタビュー相手としてその大切なコミュニティの中の一番大切な人をインタビューしたいと思う。

3 インタビューの結果

前回のインタビュー相手の部分でインタビュー相手としてお母さんを選びました。今回のインタビュー結果で話の内容を述べたいと思います。

最初は、私が「あなたにとって大切なコミュニティ」というテーマで私と故郷を選んで、その故郷の中に学校や会社やサークルなどあったが、私にとって、一番大切なコミュニティは家族だとお母さんに伝えました。そして、家族の中に一番私たちのことを考えて、私たちが大切に成長するためには一番大変なのはお母さんをインタビュー相手としてお母さんをインタビューしたいと伝えました。というわけで、私が直接お母さんに会えないので電話でインタビューしました。インタビュー内容はいろいろありましたが以下のように流しました。

質問：まず母さんが私たちの家族が何人のメンバーがいるか、そして各メンバーが今どこ、何をしていますか。

答え：私たちのコミュニティ（家族）があなたを含むと5人いる。お祖母さん（父の母）私たちとあなた達の二人。

現在お祖母さんが年を取ったので家に休養する。父さんが公務員で市の市役所で働いている。私が裁判官で裁判所ではたらいっている。そして、あなたの妹が県内の大学で看護を学んでいる。

質問：私たちのコミュニティ（家族）の中にお母さんは自分がどんな役割、立場とっていますか？

答え：母さんは私たちの中にいろいろな役割はあり、お祖母さんに対して母さんが嫁と

しての役割がある。そのときお祖母さんが年を取ったので嫁としてお祖母さんの健康を良く考えて一番住みやすい環境を作らなければならない。父さんに対して母さんが妻としての役割がある。そのとき父さんが毎日一日中家族のため一生懸命働いているので、妻として父さんの健康も考えなければならない、そして父さんと家族のことを一緒に相談して決めること。あなたたちに対して母さんが毎日朝ごはん、昼ごはん、晩ごはんいろいろ美味しい料理を作ってあげる。毎日あなた達の服を洗濯したり、部屋を掃除したりするという役割がある。だが、あなた達に対しては一番大切な役割はあなた達の将来のオリエント、あなた達の考え方を大きく影響を与えるのであなた達が社会に役に立つ人間になるために、自分が社会を出るときに存在できるためには母さんたちにとっては何よりも大切なやくわりだ。

質問：そのコミュニティの一成員がずっと家族から離れて外国で勉強しているためつまり長い時間が会えなくなる。そのとき気持ちどうですか。

答え：さびしいしか言えない。その成員が家族の一成員として長男だったんだ。高校を卒業してからずっと家族と離れて遠いところに行って何年間帰れないこと、ベトナム人にとって一年中一番家族と過ごしたい時期のお正月も過ごせない。家族にとっても母の立場が最もさびしかった。だが母さんも家族もその成員がいろんな大変なことを乗り切って自分の有名を実現できるとしんじている。

質問：今年の9月にもう一成員がまた家族を離れて大学に行くとわかったのですが。今回と前回の一成員が家族から離れるときどんな共通点と違った点がありますか。

答え：共通点はどちらもさびしかった。でも違った点もけっこうある。まず距離がちがった。一人が国境の距離、もう一人が県内の大学だからすぐに会える。さらに最初の一成員が離れるときの気持ちとずいぶんちがった。初めての一成員が離れたとき家族全員がいつも食卓の周りに座って一緒にご飯を食べながらいろんな話を話すなどという環境から急に一成員がいなくなった、かなり違いました。でも今回はたぶん前回からなんとなく慣れた、そしてあまり遠くないのでそんなにさびしくなかった。

質問：その二人がいなくなったときお二人（両親）が暇のとき何をしますか。

答え：普通。その二人が家にいるとき家族全員一緒におしゃべりしたり、食事を準備したりするが。いなくなったとき私たちが夕がスポーツをしたりテレビを見たり、たまに一緒に買い物をしたり、友人の家に行ったりすることもある。月末、妹が帰ったら、4人で食事を準備しながらはなします。

質問：今まで私たちの二人を養育するためにはいろんな大変なことがあったと思うのですが。どんな大変なことを会ったんですか。

答え：今まで、あなた達が養育するためには確かにいろんな大変なことがあったんだ。まず、あなた達がまだ小さいとき、そのときはベトナムの経済がまだ発展していないので私たちの給料がかなり低かった、普通の農業をやっている人より幹部の生活がとても困る。だから昼間の仕事が終わったら、私たちの二人がいろんな仕事もやっている。そのと

きもし若くなかったら多分我慢できないかも。さらに仕事の傍に嫁の立場に対して、妻の立場に対して、母の立場に対しての義務をしなければならない。良かったのが父さんがいろんな家族のことを手伝ってくれたので仕事がかなり楽になった。もう一つはそのときまだ若いので家族の計画をうまく立てなかった、お祖母さんからいろんなことを教えてもらって家族の仕事と裁判所の仕事のバランスをとるのがむずかしかった。今は経済的がかなり改善したのであまり困ることがなかった。

質問：最後にお母さんにとって、このコミュニティがどんな存在があるか。

答え：私の人生だ。

終わり

私たちは母と子供という関係があって今までいろんなことを話しましたが。今回はインタビュー人とインタビュー相手の立場に対しての気持ち、印象が面白いです。そして今回ばかりにお母さんの気持ち、今まで家族のために私の思ったより大変なことを始めて聞きました。私が今のようにできるのはお母さんのおかげです。

4 故郷と私

故郷、具体的には私の家族が私生まれて育てたところ、この世で私にとって一番大切な人々が生きているところだからこそ誰かにとってでもなく私にとってこのコミュニティが大切なのです。ここで家族のためだけではなくもっと多くの人々のため家族で育てた私の夢のためそして家族から私に信じて希望してくれたためどんな大変なことでも乗り切って頑張りたいと思います。さらにこのコミュニティには特に希望とかがないですが、いつも元気に楽しく行きたいと願っています。たとえ今はばらばらになってもお互いに家族全員のことが大切にしていきたいです。

5 クラスについての感想

クラスは多くの国からの留学生が集まって、文化交流としてはとてもいい機会だと思います。まだ全員と話したのではないがグループの5人の日本人とベトナム人と韓国人と中国人から作ったメンバーでお互いにいろいろなことを話したり活動したりしました。さらにほかのグループと交流した機会も多くとても楽しかったです。